

科目紹介

必修科目	履修をしないと卒業できない科目
選択必修科目	必修科目のうち、学べる科目が選べるもの
学校必修科目	該当の年次に必ず選択する科目
自由選択科目	自身の希望に合わせて学べる科目

※科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。

＜例＞

- ・3年次以上でないと履修することができない。
- ・「物理基礎」を履修済みでないと、「物理」を履修することができない。

このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。

※「共通教科」の各教科と「学校設定教科」の各教科は大学進学等で提出する書類において、別々に各教科の評価平均を算出します。ただし、全体の評価平均はすべての科目を合算して算出します。

共通教科 国語		科目	現代の国語		種類	必修	単位数	2
履修 条件	なし（1 年次指定科目）				教科書 教材等	新編 現代の国語（大修館書店）デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）漢字ボックス（浜島書店）		
受講 対象	・ 1 年次に全員がクラスごとに履修する。							
学習 内容	前期 ①ことばをひらく ②日本語を使いこなす ③わかりやすく説明する ④聞く力を育む ⑤論理を読み取る				後期 ⑥伝え合いのレッスン ⑦説得力を高める ⑧情報と向き合う ⑨他者を動かす ⑩社会に目を向けて			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
				思考・判断・ 表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め 講座・ 備考		・ 「国語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「言語文化」「国語研究2」「国語研究3」						

共通教科 国語		科目	言語文化	種類	必修修	単位数	2	
履修 条件	2 年次以上で履修（「現代の国語」の 再履修者も同時履修可能）			教科書 教材等	新編 言語文化（大修館書店）デジタル版 ビ ジュアルカラー国語便覧（大修館書店）漢字ボッ クス（浜島書店）			
受講 対象	・ 2 年次以上で選択必修修する。							
学習 内容	前期 ・ことばと出会う ・表現を味わう ・文化を見つめる ・古文に親しむ ・随筆を楽しむ ・漢文に親しむ ・現代に生きることば				後期 ・物語を受け継ぐ ・ことばと生きる ・近代文学に触れる ・物語の広がり ・旅への思い ・古人に学ぶ ・漢文を楽しむ			
評価・ 評定 の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文 化的背景の理解を深め、文章の中で使うことを通し て語感を磨き、語彙を豊かにしている。			
				思考・判断・ 表現	作品や文章に表れるものの見方、感じ方、考え方を 捉え、内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の仕 方や特色について評価している。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	日本語の表記の特色や独自性について学習した内容 をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増や そうとしている。			
お薦め 講座・ 備考		・ 必修修科目なので、卒業までに必ず履修することが条件です。そのため、なるべく 2 年次での 履修をお薦めします。 ・ 2 年次に「評論基礎 2」「国語研究 2」を選択する場合は、学習効果を高めるためにこの「言 語文化」も 2 年次に履修することをお薦めします。						

専門教科 国語		科目	評論基礎 3	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	新編 論理国語（大修館書店）、デジタル版 ビジュアル カラー国語便覧（大修館書店）、改訂版 大学入学共通テ スト実践演習 論理・文学編（数研出版）		
受講 対象	・ 大学受験で現代文が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒						
学 習 内 容	前期 ・ 論理と出会う ・ 具体と抽象 ・ 対比をとらえる ・ 主張をつかむ ・ 論理的に書く ・ 統計資料を活用する ・ 比べて読む ・ レポートを書く ・ 問題集での読解演習				後期 ・ 自己を見つめて ・ 思考を深める ・ 社会に向かって ・ 視点を変えて ・ 問いを深めて書く ・ 現代を考える ・ 未来に目を向けて ・ 問題集での読解演習		
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が適切かつ正確に 身についている。			
			思考・判断・ 表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自 らの思いや考えを広げたり深めることが的確かつ適 切にできるようになる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者 や社会に積極的かつ適切に関わろうとする態度が養 われている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「評論基礎」科目の受講を選択する順序は、「評論基礎 2」の後に「評論基礎 3」が望まし く、学習効果が高まります。 ・ 大学受験で現代文・小論文が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3 年 次以上で「評論基礎 3」の受講が望ましい。						

専門教科 国語		科目	国語研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	新 文学国語（三省堂）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講 対象	・国語ゼミへの参加を希望している生徒 （他教科のゼミ希望で国語研究 2 を履修したい場合は国語科へ相談に来てください）							
学 習 内 容	前期				後期			
	・発想と感覚 ・人間の姿と心 ・意味と解釈 ・読みの深まり ・作品の挑戦 ・近代の創造				・史実と虚構 ・作品の変貌 ・文学の普遍性② ・想像と創造 ・文学の普遍性① ・文学の普遍性③			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。			
				思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め講座・備考	・「国語研究」科目の受講を選択する順序は、「国語研究 2」の後に「国語研究 3」が望ましく、学習効果が高まります。 ・「国語ゼミ」に参加を希望する場合は「国語研究 2」「国語研究 3」を受講することが望ましく、大学受験科目で古典（古文・漢文）が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3 年次以上で「国語研究 3」の受講が望ましい。							

専門教科 国語		科目	国語研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	高等学校 古典探究（数研出版）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、改訂版 大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編（数研出版）		
受講 対象	・国語ゼミへの参加を希望している生徒 （他教科のゼミ希望で国語研究 3 を履修したい場合は国語科へ相談に来てください） ・大学受験で古典が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒							
学習 内容	前期 〈古文〉説話、歌物語、随筆、物語、和歌 〈漢文〉故事、漢詩、史伝、思想 ・問題集での読解演習				後期 〈古文〉随筆、日記、評論、近世随筆、近世小説 〈漢文〉逸話、漢詩、史伝、思想 ・問題集での読解演習			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。			
評価・ 評定の 方法				思考・判断・ 表現	古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め 講座・ 備考		・「国語研究」科目の受講を選択する順序は、「国語研究 2」の後に「国語研究 3」が望ましく、学習効果が高まります。 ・「国語ゼミ」に参加を希望する場合は「国語研究 2」「国語研究 3」を受講することが望ましく、大学受験科目で古典（古文・漢文）が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3 年次以上で「国語研究 3」の受講が望ましい。						

共通教科 地理歴史		科目	地理総合		種類	必修	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	高等学校新地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
受講 対象	・卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。							
学習 内容	前期 ①世界の諸地域を学ぶ ②地球的に広がる課題				後期 ③地図の活用と統計資料の分析 ④日本の自然環境と防災			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。			
				思考・判断・ 表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	グループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。			
お薦め 講座・ 備考	・「地理探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理探究」「地理研究3」							

共通教科 地理歴史		科目	地理探究		種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	地理総合を履修済み				教科書 教材等	地理探究（二宮書店） 標準高等地図（帝国書院） 新編フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）		
受講 対象	・大学受験等で「地理総合」よりも深く専門的な地理の内容が必要となる生徒 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野の希望者は必須							
学 習 内 容	前期					後期		
	①世界の大地形と小地形 ②大気の大循環とケッペンの気候区分 ③世界の農業と工業					④日本の自然環境と国内産業 ⑤世界の地誌 （アジア・アフリカ・ヨーロッパ・オセアニア ・アングロアメリカ・ラテンアメリカ等）		
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。			
				思考・判断・表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	グループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。			
お薦め講座・備考		・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理研究3」						

共通教科 地理歴史		科目	歴史総合		種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	歴史総合（実教出版）			
受講 対象	卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。							
学習 内容	前期 ・ 18世紀～19世紀前半における、世界とそ のなかの日本について学習する。				後期 ・ 19世紀後半～20世紀における、世界とそ のなかの日本について学習する。			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し 有用な情報を適切に選択して、効果的に活用でき る。			
				思考・判断・ 表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を 踏まえ、適切に表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人 としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・ 「日本史探究」「世界史探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・ 「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に歴史分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが 望ましい。 日本の歴史を深く学びたい場合⇒「日本史探究」「日本史研究3」 世界の歴史を深く学びたい場合⇒「世界史探究」「世界史研究3」							

共通教科 地理歴史		科目	日本史探究		種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	歴史総合を履修済み				教科書 教材等	詳説日本史（山川出版社） 歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）		
受講 対象	・大学受験等で「歴史総合」よりも深く専門的な日本史の内容が必要となる生徒 ・「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」の参加希望者は必須							
学 習 内 容	前期				後期			
	①旧石器時代～縄文時代 ②弥生時代～古墳時代 ③大和政権と飛鳥朝廷 ④大化の改新～奈良時代 ⑤平安遷都～平安中期				⑥平安後期～源平争乱 ⑦鎌倉時代～室町時代 ⑧戦国時代～織豊政権 ⑨江戸時代前期～中期 ⑩江戸時代後期～幕末期			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
				思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、適切に表現できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め講座・備考		・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「日本史研究3」						

共通教科 地理歴史		科目	世界史探究		種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	歴史総合を履修済み				教科書 教材等	新詳世界史探究（帝国書院） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）		
受講 対象	・世界の歴史について、学びを深めたい者。 ・人文系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で世界史探究の活用を考えている者。							
学習 内容	前期 人類の始まりから18世紀までの世界の歴史について学習する。 ・諸地域の歴史的特質の形成 ・諸地域の交流・再編				後期 18世紀後半から21世紀までの世界の歴史について学習する。 ・諸地域の統合・変容 ・地球世界の課題			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③課題（ワークシート、レポート等）		観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
				思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、広い視野に立って諸地域を理解し、表現できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ」 →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な歴史の流れや歴史的な思考力を生かすことができるため。 ・公民研究（特に、人文・社会科学系の大学への進学を考えている者） →世界史探究と公民研究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。							

専門教科 地理歴史		科目	地理研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	地理探究（二宮書店） 標準高等地図（帝国書院） 新編フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）		
受講 対象	・世界の地理について、学びを深めたい者。（地理探究を履修済みであることがのぞましい） ・人文系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で地理探究の活用を考えている者。							
学習 内容	前期				後期			
	地理について、共通のテーマを設定し、研究を行なう。				地理について、課題やテーマをそれぞれ設定し、研究を行なう。			
評価・ 評価の 方法	①授業への取り組み ②課題（ワークシート、レポート等） ③確認テスト		観点別 の評価	知識・技能	複数の統計資料、地図、文書資料を収集し、各テーマに適切な情報の読み取り、活用することができる。			
				思考・判断・表現	地理的事象を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で実験できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	地理において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。			
お薦め 講座・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」 →地歴・公民ゼミの活動では、基本的な地理的事象や地理的な思考力を生かすことができ、本講座で基礎研究を行なう。							

専門教科 地理歴史		科目	日本史研究 3	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	詳説日本史（山川出版社） 歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）		
受講 対象	・日本の歴史について、学びを深めたい者。（日本史探究を履修済みであることが望ましい） ・人文系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で日本史探究の活用を考えている者。						
学習 内容	前期 近代（明治・大正・昭和前期）の日本の歴史について、政治史・社会経済史などのテーマを設定し、歴史の大局を概観しながら、個別に事例研究を行う。			後期 第二次世界大戦後の日本の歴史について、戦後復興・社会経済発展・内閣と政党などのテーマを設定し、歴史の大局を概観しながら、個別に事例研究を行う。			
評価・ 評定の 方法	①授業への取り組み ②課題（ワークシート、レポート等） ③確認テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	複数の史・資料を収集し、各テーマに適切な情報を読み取り、活用することができる。		
				思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で表現できる。		
				主体的に学習に取り組む態度	歴史において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。		
お薦め 講座・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」に所属し、日本の歴史を中心に学習する場合は、「日本史探究」を履修しておくことを推奨します（歴史総合を履修済みであることが前提）。 → 「日本史探究」： 古代（先史時代・縄文・弥生・飛鳥・奈良・平安時代）・中世（鎌倉・室町・戦国時代）・近世（安土桃山・江戸時代） 「日本史研究3」： 近代（明治・大正・昭和前期）・現代（戦後史・現代史）						

専門教科 地理歴史		科目	世界史研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	新詳世界史探究（帝国書院） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）		
受講 対象	・世界の歴史について、学びを深めたい者。（世界史探究を履修済みであることが望ましい） ・人文系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で世界史探究の活用を考えている者。							
学習 内容	前期 世界史について、共通のテーマを設定し、研究を行なう。				後期 世界史について、課題やテーマをそれぞれが設定し、研究を行なう。			
評価・ 評価の 方法	①授業への取り組み ②課題（ワークシート、レポート等） ③確認テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	複数の史・資料を収集し、各テーマに適切な情報を読み取り、活用することができる。			
				思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で表現できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	歴史において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。			
お薦め 講座・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」 →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な歴史の流れや歴史的な思考力を生かすことができ、本講座で基礎研究を行なうため。							

共通教科 公民		科目	公共	種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし（１年次指定科目）			教科書 教材等	公共（東京法令出版）		
受講 対象	・１年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習 内容	前期 第１章 公共の扉 第２章 現代社会の諸課題（法～政治）				後期 第２章 現代社会の諸課題（経済） 第３章 持続可能な社会へ		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。		
				思考・判断・表現	多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、議論する力を身に付けている。		
				主体的に学習に取り組む態度	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。		
お薦め 講座・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に公民分野の学習を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「公民研究２」「公民研究３」						

専門教科 公民		科目	公民研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	フォーラム公共（東京法令出版）		
受講 対象	・現代社会の諸課題について、公民科的な見方・考え方で探究を深めたい者。 ・人文科学および社会科学系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で公民科（「公共」「倫理」「政治・経済」）の活用を考えている者。							
学習 内容	前期 現代社会における諸課題について学ぶ。 ・現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方				後期 現代社会における政治・経済的諸課題について学ぶ。 ・現代日本における政治・経済の諸課題 ・グローバル化する国際社会の諸課題			
評価・ 評価の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③課題（ワークシート、レポート等）		観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し 有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
				思考・判断・ 表現	現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、広い 視野に立って諸課題の解決策を提示できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人 としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」 →本講座で扱う「公民的な見方・考え方」は、地歴・公民ゼミで大いに活用できると考えられる。 ・世界史探究 →公民研究と世界史探究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。							

専門教科 公民		科目	公民研究 3	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能 ※履修希望者は、履修登録前に必ず教科担当者に相談すること。			教科書 教材等	倫理（東京書籍） アプローチ倫理資料PLUS（東京法令出版）		
受講 対象	・現代社会の諸課題について、倫理的な見方・考え方で探究を深めたい者。 ・人文科学系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で「公共」「倫理」の活用を考えている者。						
学習 内容	前期				後期		
	・人間の心のあり方（人間の特質や自己形成） ・さまざまな人生観、世界観（哲学と宗教） ・さまざまな倫理観、世界観（西洋思想の流れ）				・国際社会に生きる日本人としての自覚（日本の風土と思想の流れ） ・現代の諸課題と倫理（生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和）		
評価・ 評定の 方法	①授業への取り組み ②小テスト ③課題（ワークシート、レポート等）		観点別 の評価	知識・技能	先哲の人間観や世界観を理解し、教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめられる。		
				思考・判断・表現	先哲の思想を現代の社会生活に関連付けながら多面的・多角的に考察し、理解したこと、考察したことなどを適切に表現できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。		
お薦め 講座・ 備考	・世界史探究、世界史研究 3 →公民研究 3 と世界史探究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まる。 ・国語科の科目 →公民研究 3 は言語を重視するため、国語の深い理解や活用能力が必須である。 ・芸術科（音楽、美術、工芸）→本講座の内容は、芸術の理解を深めることにつながる。						

共通教科 数学		科目	数学Ⅰ		種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	新編数学Ⅰ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅰ（実教出版）			
受講対象	・1年次に全員がクラスごとに履修する。							
学習内容	前期 ①数と式 ②集合と論理 ③2次関数				後期 ④2次関数 ⑤図形と計量 ⑥データの分析			
評価・評価の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
				思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め講座・備考	・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」							

共通教科 数学		科目	数学Ⅱ	種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	数学Ⅰを履修済み			教科書 教材等	新編数学Ⅱ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅱ（実教出版）		
受講 対象	・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒						
学習 内容	前期 ①方程式・式と証明 ②図形と方程式 ③指数関数・対数関数				後期 ④指数関数・対数関数 ⑤三角関数 ⑥微分法と積分法		
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学A」「数学B」「数学Ⅲ」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」						

共通教科 数学		科目	数学Ⅲ		種類	自由選択	単位数	4
履修条件	数学Ⅱを履修済み				教科書 教材等	新編数学Ⅲ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅲ（実教出版）		
受講対象	・理工系の大学の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒							
学習内容	前期 ①関数と極限 ②微分法				後期 ③微分法の応用 ④積分法			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観点別の 評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
評価・ 評価の方法				思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしたりしている。			
お薦め講座・備考		・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・以下の講座を受講することが必要不可欠である。 「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」						

共通教科 数学		科目	数学 A		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	新編数学 A（実教出版） ラウンドノート数学 A（実教出版）		
受講 対象	・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①場合の数と確率 ②図形の性質				後期 ③図形の性質 ④数学と人間の活動（整数の性質）			
	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
評価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考		・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学 B」「数学 C」「数学研究 3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学 B」「数学 C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学 B」（「数学 C」）						

共通教科 数学		科目	数学 B		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能 数学 I を履修済み				教科書 教材等	新編数学 B（実教出版） ラウンドノート数学 B（実教出版）		
受講 対象	・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①数列 ②確率分布と統計的な推測				後期 ③確率分布と統計的な推測 ④数学と社会生活			
	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
評価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考		・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学 A」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学 C」「数学研究 3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 A」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学 C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 A」「数学Ⅱ」（「数学 C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学 A」						

共通科目 数学		科目	数学C		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3年次以上で履修可能 数学Ⅰを履修済み				教科書 教材等	新編数学C（実教出版） ラウンドノート数学C（実教出版）		
受講 対象	・理工系の大学の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①ベクトル ②複素数平面				後期 ③平面上の曲線 ④数学的な表現の工夫			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
評価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしたりしている。			
お薦め 講座 ・ 備考		・以下の講座を受講することが必要不可欠である。 「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」						

共通教科 理科		科目	科学と人間生活	種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	なし（１年次指定科目）			教科書 教材等	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）		
受講 対象	・１年次において、本講座か「化学基礎」のいずれかを全員が選択する。 ・理科を教養的に学びたい生徒、実験を通じて楽しく学びたい生徒						
学習 内容	前期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：熱気球の作成、浮沈子の作成 弦楽器の作成、電子回路の作成 ろうそくの作成など				後期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：アンモナイト化石のレプリカ作成 ダンゴムシの動きの観察 花の観察など		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して自然現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	様々な現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。実験の手順を理解し、他者に伝達することができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	<理科の卒業要件> ①「科学と人間生活」を履修した場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか１科目を次年度以降に履修する。 ②「科学と人間生活」を履修しなかった場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を履修する。 ・「科学と人間生活」と「他の理科学科」を同一年度に履修することはできない。 ・「他の理科学科」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。						

共通教科 理科		科目	物理基礎		種類	選択必修	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	新編物理基礎（東京書籍）		
受講 対象	・理工系の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・数学ゼミ、物理ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 物体の運動とエネルギー ①直線運動の世界 ②力と運動の法則 ③力学的エネルギー					後期 様々な物理現象とエネルギー ①熱 ②波 ③電気 ④エネルギーとその利用		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
				思考・判断・ 表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・「物理」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・理工系の大学進学を考える場合や「物理ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「物理」「物理研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。							

共通教科 理科		科目	物理	種類	自由選択	単位数	4	
履修 条件	物理基礎を履修済み			教科書 教材等	物理（東京書籍）			
受講 対象	・理工系の大学進学を希望している生徒 ・数学ゼミ、物理ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ・平面内の運動 ・剛体のつりあい ・運動量 ・円運動 ・単振動 ・万有引力 ・気体分子の運動 ・波の式 ・定在波 ・音波 ・ドップラー効果 ・境界が存在する定在波				後期 ・光の干渉 ・電界と電位 ・コンデンサー ・コンデンサーを含む直流回路 ・非線形抵抗 ・電流と磁場 ・電磁誘導 ・コイルを含む直流回路 ・交流回路			
評価 ・ 評価 の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
				思考・判断・表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め講座 ・ 備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・理工系の大学進学を考える場合や「物理ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「物理研究3」 ・数学の知識が必須です。「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」の受講もお薦めします。							

共通教科 理科		科目	化学基礎		種類	選択必修	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	新編化学基礎（東京書籍）		
受講 対象	・1年次において、本講座か「科学と人間生活」のいずれかを全員が選択する。 ・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 物質の構成 ①物質の成分と構成元素 ②物質の三態 ③原子の構造 ④化学結合				後期 物質の変化 ①物質量と化学反応式 ②酸と塩基 ③酸化還元反応			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・「化学」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「生物基礎」「化学」「化学研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。							

共通教科 理科		科目	化学	種類	自由選択	単位数	4	
履修 条件	化学基礎を履修済み			教科書 教材等	化学vol.1 理論編、vol.2 物質編（東京書籍）			
受講 対象	・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒							
学 習 内 容	前期				後期			
	・物質の状態 ・気体の性質 ・溶液の性質 ・固体の構造 ・化学反応と熱・光 ・電池と電気分解 ・化学反応の速さ ・化学平衡 ・水溶液中の化学平衡				・周期表と元素 ・非金属元素 ・典型金属元素 ・遷移元素 ・金属イオンの分離と確認 ・有機化合物 ・炭化水素 ・アルコール ・芳香族化合物 ・高分子化合物 ・天然高分子化合物 ・合成高分子化合物			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
				思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学研究3」							

共通教科 理科		科目	生物基礎	種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	新編生物基礎（東京書籍）		
受講 対象	・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒						
学習 内容	前期 生物の特徴・遺伝子の働き ①生物の多様性と共通性 ②生物とエネルギー ③遺伝情報とDNA ④遺伝情報とタンパク質の合成				後期 ヒトの体の調整・生物の多様性と共通性 ①ヒトの体を調整する仕組み ②免疫のはたらき ③植生と遷移 ④生態系と生物の多様性		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。		
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。		
お薦め 講座・ 備考	・「生物」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「生物」「生物研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。						

共通教科 理科		科目	生物	種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	生物基礎を履修済み			教科書 教材等	生物（実教出版）		
受講 対象	・理工学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒						
学習 内容	前期 1章 生物の進化 2章 生命現象と物質 3章 遺伝情報の発現				後期 3章 発生と遺伝子発現 4章 生物の環境応答 5章 生態と環境		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。		
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。		
お薦め 講座・ 備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・理工学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、「生物」と合わせて以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「化学」「生物研究3」						

共通教科 理科		科目	地学基礎		種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	地学基礎（東京書籍）		
受講 対象	・ 理学系の大学や専門学校に進学を希望している生徒							
学習 内容	前期 ・ 大地とその動き ・ 火山活動と地震 ・ 地球の熱収支 ・ 大気と海水の運動 ・ 宇宙の構造と進化					後期 ・ 地層と化石の観察 ・ 古生物の変遷と地球環境 ・ 日本の自然の恵みと防災 ・ 地球環境の考え方 ・ 自然環境の変動 ・ これからの地球環境		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり科学的に探究し、自然環境の保全に寄与ようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・ 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。							

専門教科 理科		科目	生物研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	本校自作プリント		
受講 対象	・ 理学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒 ・ 化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 生物基礎・生物（４単位）で扱いきれなかった内容を学習する。（例：生態系と環境の範囲など）とともに、さまざまな生物実験に取り組む。					後期 生物基礎・生物（４単位）で扱いきれなかった内容を学習する。（例：生態系と環境の範囲など）とともに、さまざまな生物実験に取り組む。		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
		思考・判断・ 表現		理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。				
		主体的に 学習に 取り組む態度		生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・ 理学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を受講することが望ましい。 ・ 生物（４単位）を修得済みであることが望ましい。							

共通教科 保健体育		科目	体育 A	種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし（1 年次指定科目）			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・ 1 年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習 内容	前期 ①体づくり運動 ②陸上競技				後期 ③球技 ④体育理論		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができています。		
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め 講座・ 備考	・ 体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることで 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）+ 体育 C（2）、3 年次：体育 D（2）＝ 7 単位 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）、3 年次：体育 D（2）、4 年次：体育 E（2）＝ 7 単位 ・ 「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」						

共通教科 保健体育		科目	体育 B	種類	必履修	単位数	1
履修 条件	2 年次指定科目			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・ 2 年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習 内容	前期 ①体づくり運動 ②ダンス ③武道				後期 ④体育理論 ⑤ダンス ⑥武道		
評価 ・ 評価 の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め 講座 ・ 備考	・ 体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることで 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）+ 体育 C（2）、3 年次：体育 D（2）＝ 7 単位 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）、3 年次：体育 D（2）、4 年次：体育 E（2）＝ 7 単位 ・ 「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」						

共通教科 保健体育		科目	体育 C	種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	2 年次生のみ履修可能			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・卒業までに体育の修得単位数が 7 単位以上になるよう、「体育 C」～「体育 E」を組み合わせ受講すること。						
学習 内容	前期 ①球技 ②器械運動 ③体育理論				後期 ④球技 ⑤器械運動 ⑥体育理論		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができています。		
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め 講座・ 備考	・体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることによって 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）+ 体育 C（2）、3 年次：体育 D（2）＝7 単位 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）、3 年次：体育 D（2）、4 年次：体育 E（2）＝7 単位 ・「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」						

共通教科 保健体育		科目	体育D	種類	選択必修修	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・卒業までに体育の修得単位数が7 単位以上になるよう、「体育C」～「体育E」を組み合わせ受講すること。						
学習内容	前期 ①体づくり運動 ②球技 ③体育理論			後期 ④体づくり運動 ⑤球技 ⑥体育理論			
評価・評価の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考	・体育は7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることによって7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1 年次：体育A（2）、2 年次：体育B（1）+体育C（2）、3 年次：体育D（2）＝7 単位 例：1 年次：体育A（2）、2 年次：体育B（1）、3 年次：体育D（2）、4 年次：体育E（2）＝7 単位 ・「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」						

共通教科 保健体育		科目	体育 E	種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・卒業までに体育の修得単位数が 7 単位以上になるよう、「体育 C」～「体育 E」を組み合わせ受講すること。						
学習 内容	前期 ①球技 ②陸上運動 ③体育理論				後期 ④球技 ⑤器械運動 ⑥体育理論		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め 講座・ 備考	・体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることによって 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）+ 体育 C（2）、3 年次：体育 D（2）＝7 単位 例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）、3 年次：体育 D（2）、4 年次：体育 E（2）＝7 単位 ・「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」						

共通教科 保健体育		科目	保健 A		種類	必履修	単位数	1
履修条件	なし（1 年次指定科目）				教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・ 1 年次に全員がクラスごとに履修する。							
学習内容	前期 ①現代社会と健康				後期 ①現代社会と健康 ②安全な社会生活			
評価・ 評価の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	現代社会と健康について理解しているとともに、疾病の予防や手当などが適切にできる。			
				思考・判断・表現	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現することができている。			
				主体的に学習に取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	・ 「保健」は2 単位を履修しないと卒業することができません。本講座「保健 A（1 単位）」と2 年次「保健 B（1 単位）」の講座を両方履修することで2 単位となります。							

共通教科 保健体育		科目	保健 B	種類	必履修	単位数	1
履修 条件	2 年次指定科目			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・ 2 年次に全員がクラスごとに履修する。						
学 習 内 容	前期 ①生涯を通じる健康				後期 ②健康を支える環境づくり		
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	現代社会と健康について理解しているとともに、疾病の予防や手当などが適切にできる。		
				思考・判断・表現	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現することができている。		
				主体的に学習に取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。		
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「保健」は2単位を履修しないと卒業することができません。本講座「保健A（1単位）」と2年次「保健B（1単位）」の講座を両方履修することで2単位となります。						

専門教科 体育		科目	ダンス入門		種類	自由選択	単位数	2	
履修 条件	なし				教科書 教材等	なし			
受講 対象	・ダンスを通じて身体を動かしたい生徒								
学 習 内 容	前期 ①ダンスの基礎知識 ②現代的なリズムのダンス					後期 ③創作遊び ④創作ダンス			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。				
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。				
				主体的に学習に取り組む態度	表現活動を通して、自らの在り方ややり方を創意工夫し、チャレンジする態度が身に付いている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・特記事項はありません。								

専門教科 体育		科目	スポーツ研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・進学等で保健体育の専門的な知識の習得が必要となる生徒。 ・「体育ゼミ」の参加希望者は履修するのが望ましい。							
学 習 内 容	前期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成				後期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点 ④提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考		・特記事項はありません。						

専門教科 体育		科目	スポーツ研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講 対象	・進学等で保健体育の専門的な知識の習得が必要となる生徒。 ・「体育ゼミ」の参加希望者は履修するのが望ましい。							
学 習 内 容	前期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成				後期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点 ④提出物		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
				主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考		・特記事項はありません。						

共通教科 芸術		科目	音楽Ⅰ		種類	選択必修修	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	MOUSAⅠ（教育芸術社）		
受講 対象	・ １年次において、本講座が「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。 ・ 音楽ゼミに参加を希望する生徒							
学 習 内 容	前期 ①歌唱 ②器楽 ③音楽理論 ④ソルフェージュ ⑤鑑賞				後期 ⑥歌唱 ⑦器楽 ⑧音楽理論 ⑨ソルフェージュ ⑩鑑賞			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。			
				思考・判断・表現	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究２」「音楽研究３」 ・ 音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や音楽に興味関心がある生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽演習２」「音楽演習３」							

専門教科 音楽		科目	音楽演習 2		種類	自由選択	単位数	2	
履修 条件	2 年次以上で履修可能 「音楽Ⅰ」を履修していることが望ましい			教科書 教材等	なし				
受講 対象	・ 音楽Ⅰを履修済みであることが望ましい ・ 自主的に継続した実技練習ができることが望ましい。								
学習 内容	前期 ①歌唱 ②器楽 ③鑑賞 ④音楽理論				後期 ①歌唱 ②器楽 ③鑑賞 ④創作・アンサンブル				
評価 ・ 評価 の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。				
				思考・判断・ 表現	自分なりの考えをもって音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。楽器の特徴や曲想に合わせた表現をすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、多様な音楽文化に親しみ積極的に取り組むことができる。				
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究 2」								

専門教科 音楽		科目	音楽演習 3	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	なし		
受講 対象	・ 音楽演習 2 を履修済みであることが望ましい ・ 自主的に継続した実技練習ができることが望ましい。						
学習 内容	前期 ①歌唱 ②器楽(ギター・ピアノ) ③鑑賞 ④音楽理論				後期 ①歌唱 ②器楽(ギター・ピアノ) ③鑑賞 ④創作・アンサンブル		
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	自分なりの考えをもって音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。楽器の特徴や曲想に合わせた表現をすることができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、多様な音楽文化に親しみ積極的に取り組むことができる。		
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究 3」 ・ 音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。 「DTM入門」「軽音楽入門」						

専門教科 音楽		科目	音楽研究 2		種類	自由選択	単位数	2	
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	なし			
受講 対象	・ 音楽ゼミ選択者で、音楽系の進学（特に音大）を希望する生徒 ・ 音符や楽譜が読めることが望ましい								
学習 内容	前期 ①音楽理論(楽譜の仕組み・音程) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽					後期 ①音楽理論(音階・調・和音) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽			
評価 ・ 評価 の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。				
				思考・判断・ 表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組んでいる。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、あわせて「音楽演習 2」を受講することが望ましい。								

専門教科 音楽		科目	音楽研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	なし		
受講 対象	・「音楽研究 2」を履修していることが望ましい。 ・音楽ゼミ選択者で、音楽系の進学（特に音大）を希望する生徒 ・音符や楽譜の基礎的な知識があることが望ましい。							
学習 内容	前期 ①音楽理論(楽譜の仕組み・音程) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽				後期 ①音楽理論(音階・調・和音) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽			
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト	観点別の評価	知識・技能	視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。				
			思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。				
			主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組んでいる。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。				
お薦め講座・備考	・音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。 「DTM入門」「軽音楽入門」「音楽演習 3」							

専門教科 音楽		科目	軽音楽入門		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	なし		
受講 対象	・音響技術や舞台裏方に興味関心のある生徒。 ・軽音楽演奏に興味関心のある生徒。							
学 習 内 容	前期 ①音響機器の基本操作 ②TAB譜・リズム譜の読み方 ③楽器演奏基礎				後期 ①舞台構成、裏方実務 ②文化祭にて舞台音響実習 ③軽音楽演奏実習			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、レポート	観 点 別 の 評 価	知識・技能 思考・判断・ 表現 主体的に 学習に 取り組む態度	軽音楽に関する知識や、技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。 音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組んでいる。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究 3」 ・音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。 「DTM入門」「音楽演習 3」							

専門教科 音楽		科目	D T M入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能				教科書教材等	なし		
受講対象	・作曲や編曲に興味関心のある生徒。 ・「音楽Ⅰ」「音楽演習２か３」もしくは「音楽研究」を履修していることが望ましい。							
学習内容	前期 ①DTMの基本操作・基礎知識 ②楽典（音楽の仕組み、和声進行等） ③作曲の基本					後期 ①DTM基礎実習 ②楽典 ③作曲		
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、レポート		観点別の評価	知識・技能	DTMに関する知識や、技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。			
				思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。			
				主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組んでいる。音楽理論を創作や音楽表現、鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め講座・備考	・「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「音楽研究３」 ・音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。「軽音楽入門」「音楽演習３」							

共通教科 芸術		科目	美術Ⅰ		種類	選択必修	単位数	2	30人
履修 条件	なし				教科書 教材等	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版） 教材費4,000円程度			
受講 対象	・1年次において、本講座か「音楽Ⅰ」「工芸Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。 ・美術・工芸ゼミに参加を希望する生徒								
学習 内容	前期 ①描画基礎 ②水彩デッサン				後期 ③彫刻 ④点描画 ⑤塑造				
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座・ 備考	・「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「平面研究2」「平面研究3」 ・美術を進路先で必要とする生徒や美術に興味関心が高い生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「美術演習2」「美術演習3」								

専門教科 美術		科目	美術演習 2	種類	自由選択	単位数	2	10人
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 5,000 円程度			
受講 対象	・「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・工芸ゼミ選択者で、美術系の進学（特に美大）を希望し、受験対策としてデッサン力を身に付ける必要がある生徒							
学習 内容	前期 ①美術概論 ②石膏デッサン ③色彩基礎、平面構成				後期 ④人物クロッキー ⑤透視図法 ⑥風景デッサン			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座・ 備考	・様々な画材の扱い方や技法を学びたい生徒は、「平面研究 2」または「工芸研究 2」も合わせて受講してください。 ・美術を進路先で必要とする生徒や美術への興味関心が高い生徒は、「美術演習 3」を受講することが望ましい。							

専門教科 美術		科目	美術演習 3		種類	自由選択	単位数	2	10人
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 5,000 円程度			
受講 対象	・「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」と、「美術演習 2」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・工芸ゼミ選択者で、美術系の進学（特に美大）を希望し、受験対策としてデッサン力を身に付ける必要がある生徒								
学習 内容	前期 ①ポートフォリオ制作 ②石膏デッサン				後期 ③構成デッサン ④想定デッサン ⑤自由テーマによるデッサン				
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座・ 備考	・様々な画材の扱い方や技法を学びたい生徒は、「平面研究 2」、「平面研究 3」、「工芸研究 2」、「工芸研究 3」の内から興味のある科目を合わせて受講してください。 ・ポートフォリオ制作では、高校入学後に制作した作品の写真が必要です。								

専門教科 美術		科目	平面研究 2		種類	自由選択	単位数	2	10人
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	高校生の美術 I（高校生の美術 I） 教材費 15,000 円程度			
受講 対象	・「美術 I」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・デザイン分野の進路を希望する者。 美術・工芸ゼミ選択者。								
学 習 内 容	前期 表現技法研究 1（コラージュ・色彩等）					後期 表現技法研究 2（版画・描画等）			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座 ・ 備考		・「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術を進路先で必要とする生徒、美術に興味関心が高い生徒は以下の講座を受講することが望ましい。 「美術演習 2」、「平面研究 2（本講座）」							

専門教科 美術		科目	平面研究 3		種類	自由選択	単位数	2	10人
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 15,000 円程度			
受講 対象	・「美術Ⅰ」「平面研究 2」を履修・習得していることが望ましい。 ・美術・デザイン分野の進路を希望する者。 ・美術・デザイン分野の学習内容に強い興味関心を持つ者。 ・美術工芸ゼミ生								
学習 内容	前期 表現技法研究 1（デザイン、版画等）					後期 表現技法研究 2（素材・表現研究、描画、発表等）			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題内容 ④課題提出状況		観点別 の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座・ 備考	◆美術工芸ゼミ生、美術・デザイン分野への進路希望者、美術に高い興味関心を持つ者が望ましい。 ◆学習内容は「平面研究 2」の内容から発展したものになるため、平面研究 2 を履修修得した者が望ましい。 ◆個人の制作以外にも、話し合いや、準備・片付けなど、グループで取り組む内容がある。								

専門教科 美術		科目	グラフィックデザイン		種類	自由選択	単位数	2	20人
履修 条件	3年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費：15,000円程度			
受講 対象	・「美術Ⅰ」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・デザイン分野に興味があり、平面構成やイラストについて学び、作品制作や発表することに関心・意欲がある。細かい作業や継続して制作する意欲がある生徒に向いています。								
学習 内容	前期 ①グラフィックデザインの基礎について ①色彩演習 ②平面構成 ③ポスター制作					後期 ①マスコットキャラクターのデザイン ②感情表現差分の作成 ③アイキャッチ作成 ④アニメーション作成			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
評価・ 評定の 方法				思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、写真やイラストの技術について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって作品に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に制作・発表などの幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座・ 備考		・令和5年度の開講科目「イラスト入門」（1単位）と後期の内容は同じです。 ・定員を超えてしまった場合は、令和5年度「写真入門」「イラスト入門」を選択していた生徒から選択不可になります。 ・絵具や道具など画材が必要なため、教材費がかかります。							

共通教科 芸術		科目	工芸Ⅰ		種類	選択必修修	単位数	2	20人
履修 条件	なし				教科書 教材等	工芸Ⅰ（日本文教出版） 教材費 5,000円程度			
受講 対象	・1年次において、本講座か「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。 ・美術・工芸ゼミに参加を希望する生徒								
学 習 内 容	前期 ①ペーパークラフト ②木材工芸					後期 ①木材工芸 ②金属工芸 ③編んで作る工芸			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出			観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
					思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
					主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を2年次以降受講することが望ましい。 「工芸研究2」「工芸研究3」								

専門教科 工芸		科目	工芸研究 2		種類	自由選択	単位数	2	20人
履修 条件	2年次以上で履修可能 美術Ⅰまたは工芸Ⅰを履修修得していることが望ましい。				教科書 教材等	教材費 10,000円程度			
受講 対象	・工芸について学び、様々な素材で物を作ります。 ・集中して静かにモノを作ることができる生徒に向いています。日本全国のモノづくりについても調べ研究します。								
学習 内容	前期 ①木工制作 ②日本の伝統工芸制作					後期 ②木工制作 ③日本の伝統工芸品制作 ④日本の工芸品についての研究（レポート）			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め 講座 ・ 備考		・「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術や工芸を進路先で必要とする生徒にお勧めです。							

専門教科 工芸		科目	工芸研究 3		種類	自由選択	単位数	2	20人
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 1 0 , 0 0 0 円程度			
受講 対象	・主に工芸について学びます。工芸研究 2 の発展になるので履修修得していることが望ましい。								
学習 内容	【前期】 工芸研究 ①ランドスケープデザイン ②金工制作 ②伝統工芸制作					【後期】 工芸研究 ①木工制作 ②伝統工芸品制作			
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。				
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。				
お薦め講座・備考		・「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術や工芸を進路先で必要とする生徒にお勧めです。 ・「工芸研究 2」を履修修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。							

専門教科 工芸		科目	クラフト	種類	自由選択	単位数	2	20人
履修 条件	3年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費等15000円程度			
受講 対象	・静かにモノを作ることが好きな生徒向きです。 ・装身具に興味があり、デザインを考えたり削ったり磨いたりすることに集中することができること。							
学習 内容	【前期】 陶芸制作 粘土を使用した制作を行います。				【後期】 ジュエリー等装身具（身に付ける物・アクセサリ）などを制作します。金属等様々な材料を使用します。			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、金属工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に金属工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、金属工芸の伝統と技術に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座・ 備考	・令和5年度の開講科目「陶芸入門」「ジュエリー制作入門」選択者へこの科目は昨年度と内容は同じです。本講座を選択することは可能ですが、定員を超えてしまった場合は、令和5年度「陶芸入門」「ジュエリー制作入門」を選択していた生徒から選択不可になります。 ・粘土や絵具、材料や道具など画材が必要なため、教材費がかかります。							

共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーションⅠ	種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし（１年次指定科目）			教科書 教材等	Amity English CommunicationⅠ（開隆堂） Amity English CommunicationⅠ ワークブック（開隆堂）		
受講 対象	・１年次に全員が必ず履修する。						
学 習 内 容	前期 ・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング			後期 ・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング ・英語検定に向けての学習			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	・出席状況 ・授業への取り組み ・提出物 ・定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの４技能を活用できる。			
			思考・判断・表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	CYODやBYODを駆使し、主体的に発話活動に取り組む姿勢がある。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究３」 「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 ・四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」						

共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーションⅡ	種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	英語コミュニケーションⅠを履修済み			教科書 教材等	Amity English CommunicationⅡ（開隆堂） Amity English CommunicationⅡ ワークブック（開隆堂）		
受講 対象	・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒						
学習 内容	前期			後期			
	・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング			・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング ・英語検定に向けての学習			
評価・ 評定の 方法	・授業内での活動 ・提出物 ・各課題での表現 ・テストでの授業理解度		観 点 別 の 評 価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している		
				思考・判断・ 表現	・英語でのやり取りができる。 ・英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	・学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。 ・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。		
お薦め 講座・ 備考		・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。 ・大学進学を、一般受験（筆記試験で）希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。『論理・表現Ⅰ及びⅡ』、（次年度に『英語コミュニケーションⅢ』）					

共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーションⅢ	種類	自由選択	単位数	4
履修 条件	英語コミュニケーションⅡを履修済み			教科書 教材等	COMET English CommunicationⅢ（数研出版） COMET English CommunicationⅢ ワークブック（数研出版）		
受講 対象	・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミを受講している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒						
学習 内容	前期			後期			
	・英語でのやり取り ・英語の文章の読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング ・大学受験に向けての学習			・英語でのやり取り ・英語の文章の読解に必要な文法や単語の学習 ・英語を聞いて、答えるトレーニング ・大学受験に向けての学習			
評価・ 評定の 方法	・授業内での活動 ・提出物 ・各課題での表現 ・テストでの授業理解度		観 点 別 の 評 価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している		
				思考・判断・ 表現	・英語でのやり取りができる。 ・英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	・学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。 ・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。		
お薦め 講座・ 備考		・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。 ・大学進学を、一般受験（筆記試験で）希望する場合は、『論理・表現Ⅱ』も受講していることが望ましい。					

共通教科 外国語		科目	論理・表現Ⅰ		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	MY WAY(三省堂) MY WAY English Logic and Expression I WORKBOOK(三省堂)		
受講 対象	・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文 法力、表現力を養う。 ・論理・表現Ⅰの内容を復習し、発展させる。				後期 ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法 力、表現力を養う。 ・大学進学を意識した学習活動を行う。			
評価・ 評定 の方法	・出席状況 ・授業への取り組み ・提出物 ・定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	日常の身近な話題について、聞く・話すの2技能を 活用できる。			
				思考・判断・ 表現	外国語で情報や考え方、話し手や書き手の意図など を的確に理解する。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究3」「論理・表現Ⅱ」 ・四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅱ」							

共通教科 外国語		科目	論理・表現Ⅱ		種類	自由選択	単位数	2	
履修 条件	論理・表現Ⅰを履修済み				教科書 教材等	MY WAY Ⅱ（三省堂） MY WAY English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK(三省堂)			
受講 対象	・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒								
学習 内容	前期 ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文 法力、表現力を養う。 ・論理・表現Ⅰの内容を復習し、発展させる。					後期 ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法 力、表現力を養う。 ・大学進学を意識した学習活動を行う。			
評価・ 評定 の方法	・授業内での活動 ・提出物 ・各課題での表現 ・テストでの授業理解度			観 点 別 の 評 価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している			
					思考・判断・ 表現	・英語でのやり取りができる。 ・英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。			
					主体的に 学習に 取り組む態度	・学んだ知識を活用して、自身のことを表現しよう としている。 ・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。			
お薦め 講座・ 備考		・英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受 験を希望する場合。 ・大学進学を、一般受験（筆記試験で）希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。 『英語コミュニケーションⅡ』							

専門教科 英語		科目	英語プラス	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	ICT教材 スタディサブリ		
受講 対象	・義務教育課程の内容を学び直したい生徒 ・大学進学に向けた対策を行いたい生徒						
学習 内容	前期 基礎的な内容から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			後期 基礎的な内容から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			
評価・ 評定の 方法	・出席状況 ・授業への取り組み 視聴計画に対する達成度を重要視します。 ・提出物 ・確認テスト／チェックテスト／単元テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。			
			思考・判断・ 表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・本授業は「ICT教材：スタディサブリ」を利用した授業となります。 ・右図のように、映像授業を視聴しながら各個人ごとに学習をすすめます。 ・担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。						



映像授業「スタディサブリ」を利用した授業となります。

映像授業を視聴しながら各個人ごとに学習をすすめます。

担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。



専門教科 英語		科目	英語研究 3	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	教科書 なし 副教材を購入（教材については現在選定中）		
受講 対象	・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミに所属している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒						
学習 内容	前期 ・さまざまな話題（自然・科学・文化・国際社会etc.）に関する英文を読み、自分の意見や考えをまとめ英語で表現する。 ・上記話題についてさらに掘り下げて調べ、講座内で発表を行う。				後期 ・さまざまな話題（自然・科学・文化・国際社会etc.）に関する英文を読み、自分の意見や考えをまとめ英語で表現する。 ・上記話題についてさらに掘り下げて調べ、講座内で発表を行う。		
	・出席状況 ・授業への取り組み ・課題への取り組み ・提出物 ・確認テスト等による授業理解度		観 点 別 の 評 価	知識・技能	・日常の身近な話題について英語で理解し、知識を深めることができる		
評価・ 評定の方法				思考・判断・表現	・日常の身近な話題について自分の意見や考えをまとめ、英語で表現することができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。 ・日常の身近な話題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習に取り組むことができる		
お薦め講座・備考		・この講座を受講する生徒は「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。 ・3年次以降で開講される外国語の科目として本講座と「英語コミュニケーションⅢ」があるが、まず4単位の「英語コミュニケーションⅢ」を履修することが望ましい。					

共通教科 家庭		科目	家庭基礎	種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	未来へつなぐ 家庭基礎 教材費 3,000円程度	365	(教育図書)
受講 対象	・2年次に全員が必ず履修する。						
学習 内容	前期 ①生活設計 ②家族 ③保育・高齢期・共生社会と福祉 ④衣生活 ⑤ホームプロジェクト				後期 ⑥持続可能な社会 ⑦消費・経済 ⑧食生活 ⑨住生活 ⑩ホームプロジェクト		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述するなど、生涯を見通して課題を解決する。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。		
お薦め 講座 ・ 備考	・「生活ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を履修・修得し、下の講座を受講することが望ましい。 【食物系】「食物研究2」「食物研究3」「生物基礎」「化学基礎」「生物または化学」 【被服系】「被服研究2」「被服研究3」「オリジナル服製作入門」 【保育福祉系】「保育福祉研究2」「保育福祉研究3」「音楽Ⅰ」「音楽演習2・3（保育系）」 【家庭経営系】「SDGs入門」「売り手と買い手」						

専門教科 家庭		科目	被服研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	作品として材料代がかかります。教材費として納入または各自で購入・持参する。		
受講 対象	・将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡デザイナー・パターンナー ・生活ゼミに所属して被服について学びを深めたい生徒						
学習 内容	前期 ①服飾の変遷と文化 ②被服の構成 ③被服材料 ④被服製作			後期 ④被服製作 ⑤総合実習			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・家庭基礎は、履修・修得済みであることが望ましい。 ・「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「被服研究 2（本講座）」「被服研究 3（本講座履修後）」						

専門教科 家庭		科目	被服研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能 (被服研究2を履修済の者)				教科書 教材等	作品として材料代がかかります。教材費として納入または各自で購入・持参する。		
受講 対象	・将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡デザイナー・パターンナー ・生活ゼミに所属して被服研究 2 を履修・修得し、さらに学びを深めたい生徒							
学習 内容	前期 ①服飾の文化と私たちの生活 ②被服の構成（平面） ③被服の構成（立体） ④被服製作				後期 ⑤被服製作 ⑥総合実習			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
				思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座・ 備考		・家庭基礎を履修・修得していることが望ましい。 ・被服研究 2 を履修済みであることが望ましい。 ・「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「被服研究 3（本講座）」「オリジナル服製作入門（本講座履修後または本講座と並行履修）」						

専門教科 家庭		科目	保育福祉研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	実習等で交通費や保険料等がかかる場合があります。		
受講 対象	・将来、大学または短大の家政学部（保育福祉分野専攻）、保育福祉系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡保育士・介護福祉士・社会福祉士等 ・生活ゼミに所属して保育福祉について学びを深めたい生徒						
学 習 内 容	前期			後期			
	①子どもの保育・発達 ②高齢者の自立生活支援と介護 ③子どもの生活と養護 ④高齢者・子どもの福祉制度			⑤子どもの文化・表現活動 ⑥保育体験・介護体験 ⑦製作			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
				思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
				主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め講座・備考		・家庭基礎を履修済み、もしくは履修中の者に限る。 ・「生活ゼミ」【保育福祉系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「保育福祉研究 2（本講座）」「保育福祉研究 3（本講座履修後）」「音楽 I」「音楽演習 2・3（保育系）」					

専門教科 家庭		科目	保育福祉研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能 (保育福祉研究2を履修済の者)				教科書 教材等	実習等で交通費や保険料等がかかる場合があります。 また、教材費がかかる場合もあります。		
受講 対象	将来、大学または短大の家政学部（保育福祉分野専攻）、保育福祉系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡保育士・介護福祉士・社会福祉士等 ・生活ゼミに所属して保育福祉についてさらに学びを深めたい生徒							
学習 内容	前期 ①現代の保育福祉事情 ②ケアサービスとホスピタリティ ③地域福祉の現状 ④認知症介護と障がい者支援					後期 ⑤子どもの文化・表現活動 ⑥保育体験・介護体験 ⑦製作		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
				思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・家庭基礎を履修・修得した者の受講が望ましい。 ・保育福祉研究 2 を履修済みであることが望ましい。 ・「生活ゼミ」【保育福祉系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「保育福祉研究 3（本講座）」「音楽Ⅰ」「音楽演習 2・3（保育系）」							

専門教科 家庭		科目	食物研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	調理実習費（材料費）を徴収します 年間の実施回数・内容によって異なりますが、年間 10,000 円程度かかります		
受講 対象	・将来、大学または短大の家政学部（食物・栄養分野専攻）、食物・栄養系の専門学校に進学を目指す生徒➡管理栄養栄養士・栄養士・調理師 ・生活ゼミに所属して調理や栄養について学びを深めたい生徒						
学習 内容	前期 ①健康と食生活 ②栄養と調理 ③食文化・テーブルコーディネート ④調理の基礎 ⑤調理実習				後期 ⑤調理実習 ⑥献立作成 ⑦総合実習		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、食生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、食生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座・ 備考	・家庭基礎を履修・修得していることが望ましい。 ・「生活ゼミ」【食物系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「食物研究 2（本講座）」「食物研究 3（本講座履修後）」「生物基礎」「化学基礎」「生物または化学」						

専門教科 家庭		科目	オリジナル服製作入門	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能 (家庭基礎を履修済みの者)			教科書 教材等	作品として材料代がかかります。教材費として納入または各自で購入・持参する。		
受講 対象	・将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡デザイナー・パターンナー ・生活ゼミに所属して被服についてさらに学びを深め、独創性を表現したい生徒						
学習 内容	前期 ①衣服とパターン ②パターンの活用 ③被服材料による表現 ④被服製作				後期 ④被服製作 ⑤総合実習・発表		
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
				思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
				主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め 講座・ 備考	・「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「オリジナル服製作入門（本講座）」「被服研究 3（本講座と並行履修）」						

共通教科 情報		科目	情報Ⅰ		種類	必履修	単位数	2
履修 条件	なし（１年次指定科目）				教科書 教材等	新編情報Ⅰ（東京書籍） 新編情報Ⅰ資料ノート（東京書籍）		
受講 対象	・１年次に全員がクラスごとに履修する。							
学習 内容	前期 ①情報社会の問題解決 ②コミュニケーションと情報デザイン					後期 ③コンピュータとプログラミング ④情報通信ネットワークとデータ活用		
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題 ⑤定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての知識・技術を身に付けている。			
		思考・判断・ 表現		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に取捨選択して活用し、相手に伝えることができる。				
		主体的に 学習に 取り組む態度		情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ」「情報研究２」「情報研究３」							

共通教科 情報		科目	情報Ⅱ		種類	自由選択	単位数	2	
履修 条件	情報Ⅰを履修済み				教科書 教材等	情報Ⅱ（東京書籍）			
受講 対象	・ 情報/情報技術に興味のある生徒 ・ 「情報ゼミ」を希望する生徒								
学 習 内 容	前期 ①情報社会の進展と情報技術 ②コミュニケーションとコンテンツ					後期 ③情報とデータサイエンス ④情報システムとプログラミング			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題 ⑤定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め、技能を習得することができる。				
				思考・判断・表現	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に活用することができる。				
				主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画しようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・ 「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ（本講座）」「情報研究2」「情報研究3」								

専門教科 情報		科目	情報研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講 対象	・「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を履修済み、もしくは「情報Ⅱ」と同時履修であることが望ましい ・情報/情報技術に興味のある生徒 ・「情報ゼミ」を希望する生徒							
学習 内容	前期 情報技術を活用した問題解決①				後期 情報技術を活用した問題解決②			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④発表・課題		観 点 別 の 評 価	知識・技能	情報システム・情報コンテンツについて理解を深めるとともに、効果的に活用するための技能を習得することができる。			
				思考・判断・ 表現	問題を発見・分析し、解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用することができる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、粘り強く主体的に問題解決に取り組むことができる。			
お薦め 講座・ 備考	・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ」「情報研究 2（本講座）」「情報研究 3」							

専門教科 情報		科目	情報研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能			教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講 対象	・「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を履修済み、もしくは「情報Ⅱ」と同時履修であることが望ましい ・情報/情報技術に興味のある生徒 ・「情報ゼミ」を希望する生徒							
学習 内容	前期 情報技術を活用した自己テーマ設定問題解決①				後期 情報技術を活用した自己テーマ設定問題解決②			
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④発表・課題		観 点 別 の 評 価	知識・技能	情報システム・情報コンテンツについて理解を深めるとともに、効果的に活用するための技能を習得することができる。			
				思考・判断・表現	問題を発見・分析し、解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用することができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、粘り強く主体的に問題解決に取り組むことができる。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ」「情報研究 2」「情報研究 3（本講座）」							

専門教科 商業		科目	ビジネスベーシック		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし				教科書 教材等	ビジネス基礎（実教出版）		
受講 対象	・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①ビジネスの心構え（ビジネスマナー） ②企業の形態、業種・業態とは ③原価・定価・売価と利益について				後期 ④マーケティングの重要性 ⑤販売戦略と効果的な販売方法 ⑥広告の重要性 ⑦模擬取引から取引の流れを学ぶ			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト ⑤定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	ビジネスに関する実践的な学習を通じて、ビジネスの 場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
評価・ 評定の 方法				思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら 目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアン テナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経 験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考		・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「ビジネスアプリケーション入門」 「ビジネスコミュニケーション」「実務簿記」						

専門教科 商業		科目	マーケティング研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	マーケティング（実教出版）		
受講 対象	・ 商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・ ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒 ・ ビジネスゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①マーケティングとは ②マーケティングの流れ ③消費者行動 ④市場調査（リサーチ）				後期 ⑤セグメンテーション ⑥ターゲティング ⑦ポジショニング ⑧事例研究			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	マーケティングに関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考		・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究 3」「ビジネスアプリケーション入門」 「ビジネスコミュニケーション」「実務簿記」						

専門教科 商業		科目	マーケティング研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	マーケティング（実教出版）		
受講 対象	・ 商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・ ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒 ・ ビジネスゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①製品政策 ②価格政策 ③チャネル政策				後期 ④プロモーション政策 ⑤マーケティングの広がり ⑥事例研究			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	マーケティングに関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究 2」「ビジネスアプリケーション入門」 「ビジネスコミュニケーション」「実務簿記」							

専門教科 商業		科目	マネジメント研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	ビジネス・マネジメント（実教出版）		
受講 対象	・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒、起業をしたい生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒							
学習 内容	前期 ①ビジネスの拡大と多角化 ②事業転換				後期 ③ビジネスと社会 ④企業への支援と責任 ⑤事例研究			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観点別 の評価	知識・技能	経営に関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究 2」「マーケティング研究 3」 「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスコミュニケーション」「実務簿記」							

専門教科 商業		科目	ビジネスアプリケーション入門	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	・日本語ワープロ検定 3・4 級問題集（日本情報処理検定協会） ・情報処理技能検定試験 表計算 3・4 級問題集（日本情報処理検定協会）		
受講 対象	・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・コンピューターを使ったビジネス活動に興味があり、卒業後就職を希望している生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒						
学習 内容	前期 ①企業活動と情報処理 ②ビジネス文書と表現 ③ワープロの操作と入力方法 ④基本文書の作成 ⑤応用文書の作成 ⑥ビジネス課題実践1			後期 ⑦情報の集計と分析 ⑧関数を利用した表の作成 ⑨グラフの作成 ⑩情報の整列・検索・抽出 ⑪ビジネス課題実践2 ⑫ビジネス課題実践3			
評価・ 評価の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	コンピュータを活用したビジネスに関する実践的な学習を通じて、様々なビジネスシーンで活用できる知識・技術を身に付けている。		
				思考・判断・表現	問題と課題を発見し、コンピュータを活用し解決を図ることができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。		
お薦め 講座・ 備考	★「ビジネスアプリケーション演習(R08年度開講予定)」も併せて受講することが望ましい。 ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」 「ビジネスコミュニケーション」「実務簿記」						

専門教科 商業		科目	ビジネスコミュニケーション	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	ビジネス・コミュニケーション（実教出版）		
受講 対象	・ビジネスに興味があり、将来の就職に備えたい生徒。特に卒業後就職を希望している生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒						
学 習 内 容	前期 ①企業の組織と人間関係 ②応対に関するビジネスマナー ③交際と接客に関するビジネスマナー				後期 ④ビジネスにおけるコミュニケーション ⑤ビジネス文書の作成		
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	ビジネスに関する実践的な学習を通じて、様々なビジネスシーンで活用できる知識・技術を身に付けている。		
				思考・判断・表現	問題と課題を発見し、解決を図ることができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	・将来の就職に備えたい生徒、卒業後就職を希望している生徒は履修することが望ましい。 ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」 「ビジネスアプリケーション入門」「実務簿記」						

専門教科 商業		科目	実務簿記		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	新簿記（実教出版）	電卓を各自で準備	
受講 対象	・企業の経営に関心のある生徒 ・商学部・経営学部・経済学部の大学やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒 ・卒業後、就職を希望している生徒 ※『実務簿記入門』『青色申告入門』を履修済みの場合は選択できません。							
学習 内容	前期 ①簿記のしくみ ②資産・負債・純資産 ③収益と費用 ④仕訳と転記 ⑤取引の記帳				後期 ①決算とは ②決算整理 ③精算表の作成 ④損益計算書の作成 ⑤貸借対照表の作成			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	簿記に関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考		★簿記検定取得には「実務簿記演習(R08年度開講予定)」も併せて受講することが望ましい。 ・簿記検定試験 3 級範囲の知識・技術が身に付きます。 ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」「マーケティング研究 2」「マーケティング研究 3」 「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスコミュニケーション」						

専門教科 総合		科目	産業社会と人間	種類	学校必選択	単位数	2	
履修 条件	なし（１年次指定科目）			教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講 対象	・１年次にクラスごとに全員が履修する。							
学 習 内 容	前期 ①グループエンカウンター ②jobtag（職業興味検査） ③学ぶ意義の理解 ④本物体験の事前学習 ⑤本物体験の成果発表				後期 ⑥将来設計（履修登録、履修相談） ⑦柱となる科目体験 ⑧社会を知る（社会の変化、ビジネススキル） ⑨ラーニングプラン（学びの計画作り） ⑩学習成果発表会準備			
	評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
思考・判断・ 表現				将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力を養い、在学中の科目選択や進路計画を立てる力を身に付けようとしている。				
主体的に 学習に 取り組む態度				自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 ２年次「フューチャーデザインング２」「人間と社会」「ゼミナール２」、 ３年次「フューチャーデザインング３」「ゼミナール３」、 ４年次「フューチャーデザインング４」「ゼミナール４」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

専門教科 総合		科目	ゼミナール 2		種類	学校必選択	単位数	1
履修 条件	2 年次指定科目				教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講 対象	・ 2 年次に各自で選択したゼミごとに全員が履修する。							
学 習 内 容	前期 (プレ課題研究) ①テーマ理解の練習 ②情報や意見の共有 ③芽吹祭発表準備				後期 (課題研究準備) ④テーマ設定 ⑤研究計画書の作成 ⑥ゼミ内発表			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・表現	将来に必要なコミュニケーション能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
				主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・ フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 2 年次「フューチャーデザインング 2」「人間と社会」、 3 年次「フューチャーデザインング 3」「ゼミナール 3」、 4 年次「フューチャーデザインング 4」「ゼミナール 4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

専門教科 総合		科目	ゼミナール 3		種類	学校必選択	単位数	2
履修 条件	3 年次指定科目				教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講 対象	・ 3 年次に各自で選択したゼミごとに全員が履修する。							
学 習 内 容	前期 ①課題研究の開始 ②研究データの収集（調査・実験など） ③研究状況の確認・整理・共有 ④芽吹祭中間発表					後期 ⑤研究の仕上げに向けた再調査・再実験など ⑥論文・プレゼン動画の作成 ⑦課題研究の成果発表		
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能		選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現		将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に学習に取り組む態度		自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・ フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1 年次「人間と社会」 2 年次「フューチャーデザインング 2」「ゼミナール 2」、 3 年次「フューチャーデザインング 3」「ゼミナール 3」、 4 年次「フューチャーデザインング 4」「ゼミナール 4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

専門教科 総合		科目	ゼミナール 4		種類	学校必選択	単位数	2	
履修 条件	4 年次指定科目				教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講 対象	・ 各自で選択したゼミごとに全員が履修する。								
学 習 内 容	前期 ①課題研究の開始 ②研究データの収集（調査・実験など） ③研究状況の確認・整理・共有 ④芽吹祭中間発表					後期 ⑤研究の仕上げに向けた再調査・再実験など ⑥論文・プレゼン動画の作成 ⑦課題研究の成果発表			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。				
評 価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。				
				主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。				
お薦め講座・備考		・ フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1 年次「人間と社会」 2 年次「フューチャーデザインング 2」「ゼミナール 2」、 3 年次「フューチャーデザインング 3」「ゼミナール 3」、 4 年次「フューチャーデザインング 4」「ゼミナール 4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

専門教科 総合		科目	日本の伝統文化		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト 教材費 10,000円程度			
受講 対象	・ T P O に応じたマナーを身に付けたい生徒 ・ 他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒 ・ 日本の伝統や文化を学びたい生徒							
学習 内容	前期 ①伝統工芸を学ぶ・体験する ②落語を学ぶ・体験する ③能・狂言を学ぶ・体験する ④体験についてのまとめ・発表など				後期 ⑤歌舞伎を鑑賞する ⑥華道を学ぶ・体験する ⑦茶道を学ぶ・体験する ⑧学んだ成果のまとめ・発表など			
評価 ・ 評定 の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	日本の伝統と文化の体験を通じて日本の歴史文化を学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。			
				思考・判断・表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	日本の伝統と文化について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・ 特記事項はありません。							

専門教科 総合		科目	演劇入門		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	本校作成テキスト 教材費 3, 0 0 0 円程度		
受講 対象	・ 他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒 ・ 自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学びたい生徒							
学 習 内 容	前期 ①体で表現する ②詩や物語の朗読、対話文 ③演劇鑑賞 ④既成台本の読み通し				後期 ⑤キャストの決定と稽古 ⑥舞台稽古・舞台設営・小道具衣装作成 ⑦本番・事後振り返りと年間まとめ			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み・集中度 ③課題の提出状況 ④発表	観 点 別 の 評 価	知識・技能	「表現をする活動」を通じて自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学ぶ。				
			思考・判断・表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。				
			主体的に学習に取り組む態度	表現方法について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	・ 講師の先生によって学習内容が変わる場合があります。							

専門教科 総合		科目	映像研究 2		種類	自由選択	単位数	2	15人
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 3, 0 0 0 円程度 各自の制作で必要な材料は用意してください。			
受講 対象	・映像について学び、動画作成や編集作業に興味のある生徒 ・パソコンを使用して映像表現することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 ・絵をかいたり、創造したりすることに興味がある生徒 ・グループで撮影したり、お互いに発表しあったりします。								
学習 内容	前期 ①映像表現の基本を学ぶ ・パラパラマンガとアニメーションの作画制作 ・使用する機材・コンピュータソフトの使用方法について ・アニメーション鑑賞					後期 ②動画制作 ・実写撮影について ・インタビュー撮影の企画実践 ・コマ撮りアニメーション制作 ・コマーシャル (CM) 制作			
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	映像表現に関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、動画編集ができる知識・技術を身に付けている。				
		思考・判断・ 表現		動画を効果的に表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。					
		主体的に 学習に 取り組む態度		動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。					
お薦め 講座 ・ 備考	・映像で伝える表現について学びます。絵コンテを描きながら創造して考え、動きや音を加えながら映像を制作します。完成したら発表してお互いに作品鑑賞をします。 ・アニメーション制作では絵を描き、コンピュータで動画にしていけるので、イラストを描くことや、パソコン操作に興味があると良い。 ・「映像研究 3」につながる専門性ある授業と研究です。コンピュータの動画編集ソフト「アドビプレミア」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。								

専門教科 総合		科目	映像研究 3		種類	自由選択	単位数	2	15人
履修 条件	3 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 3, 0 0 0 円程度 各自で研究制作に必要な材料は用意してください。			
受講 対象	「映像研究 2」を履修修得していることが望ましい。 ・映像について学び、動画作成や編集作業に興味のある生徒 ・パソコンを使用して映像表現することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 ・絵をかいいたり、創造したりすることに興味がある生徒 ・グループで撮影したり、お互いに発表しあったりします								
学習 内容	前期 ①動画制作 ・コマ撮りアニメーション制作 ・コマーシャル (CM) 制作 ・アニメーション鑑賞と講義				後期 ②映像制作に関する課題を研究し、制作をします。 ・グループでの動画制作 ・テーマにそった撮影と動画編集				
	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	映像表現に関する学習を通じて、自ら主体的に制作 に取り組み、動画編集ができる知識・技術を身に付 けている。				
評価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・ 表現	動画を効果的に表現する力を身に付け、他者を理解 し他者と協力しながら計画を立てて実行することが できる。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわ たって学びに取り組む力を身に付け、発表しようと している。				
お薦め 講座 ・ 備考		映像制作をグループや個人でおこなった後に、各自の映像研究に入ります。途中経過の発表・講 評があり、完成後は展示及び上映会と成果を発表します。鑑賞ではアニメーションや映画を見 て、講義と意見交換や発表をおこないます。 ・「映像研究 2」を履修修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。コンピュータの動画 編集ソフト「アドビプレミア」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があり ます。							

専門教科 総合		科目	デザイン研究 2		種類	自由選択	単位数	2	15人
履修 条件	2 年次以上で履修可能				教科書 教材等	教材費 3, 0 0 0 円程度 各自の制作で必要な材料は用意してください。			
受講 対象	・パソコンを使用してデザインを考え制作することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 ・写真で表現することに興味があり、冊子制作などの編集に興味がある生徒 ・一眼レフカメラに興味がある生徒。								
学習 内容	前期 ①写真とその画像処理について学ぶ。 ・写真表現の研究と学びについて ②写真集制作 ・編集デザインとレイアウト					後期 ①写真撮影を通して自己表現と写真表現について学ぶ。 ・自己と写真表現の研究 ・一眼レフカメラ使用方法と写真撮影技術			
評価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	写真や編集デザインに関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、パソコンを使用して制作ができる知識・技術を身に付けている。				
				思考・判断・表現	写真表現で効果的に自己表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。				
				主体的に学習に取り組む態度	写真を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。				
お薦め 講座 ・ 備考	写真表現と編集デザインについて学びます。パソコンを使用しての制作が中心です。「デザイン研究 3」につながる専門性ある授業と研究です。コンピュータの編集ソフト「アドビイラストレータ」「アドビフォトショップ」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。								

専門教科 総合	科目	デザイン研究 3	種類	自由選択	単位数	2	15人
履修 条件	3 年次以上で履修可能		教科書 教材等	教材費10000円程度 各自で研究制作に必要な材料は用意してください。			
受講 対象	「デザイン研究 2」を履修修得していることが望ましい。 ・パソコンを使用してデザインを考え制作することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 ・写真で表現することに興味があり、冊子制作などの編集に興味がある生徒 ・一眼レフカメラに興味がある生徒。						
学習 内容	前期 写真や編集デザインに関する課題を研究し、制作をします。 ①写真表現の講義と研究 ・世界の写真家の写真表現について ②写真集制作 ・編集デザインとレイアウト			後期 ①編集デザイン（冊子制作） 各自が設定した課題を研究し制作をします。 完成したら成果を発表し、展示をおこないます。			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	写真や編集デザインに関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、パソコンを使用して制作ができる知識・技術を身に付けている。		
評価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・表現	写真表現で効果的に自己表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	写真を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	・各自で主体的に写真や編集デザインをパソコンを使用しての制作・研究をします。 ・意見交換や発表や講評を行いながら制作をします。完成後はプレゼンテーションと展示をして成果を発表します。 ・「デザイン研究 2」を履修修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。コンピュータの編集ソフト「アドビイラストレータ」「アドビフォトショップ」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。						

専門教科 総合		科目	ドローン・映像入門		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講 対象	・ドローンに興味のある生徒 ・動画作成・編集に興味のある生徒 ・効果的に動画作成・配信をし、プレゼンテーション力を高めたい生徒							
学 習 内 容	前期 ①ドローンの操作方法 ②ドローンに関する知識（法律を中心に）				後期 ①映像配信に関する知識（法律を中心に） ②簡単な動画編集 ③映像配信の方法を学ぶ			
	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況 ④小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	ドローンや映像配信に関する学習を通じ、法令に則り自ら主体的にドローン操作や動画編集・配信ができる知識・技術を身に付けている。			
評 価 ・ 評 定 の 方 法				思考・判断・表現	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立て実行することができる。			
				主体的に学習に取り組む態度	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学習し学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考		・動画作成や編集に興味のある生徒は、以下の講座をお薦めします。 「映像研究 2」「映像研究 3」						

専門教科 総合		科目	売り手と買い手	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	・ 本校作成テキスト ・ 事例探究ワークブック ビジネス編（実教出版）		
受講 対象	・ ビジネスゼミや生活ゼミへの参加を希望している生徒						
学習 内容	前期 ①売り手(生産者)と買い手(消費者)とは ②消費生活の役割 ③消費者被害と消費者の権利・責任 ④消費生活の安全と自由				後期 ⑤生産者と法（P L法を中心に） ⑥消費者契約と法 ⑦事例研究		
評価・ 評定の 方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト ⑤ 定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	ものごとを売り手側（生産者）と買い手側（消費者）の視点から学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。		
				思考・判断・ 表現	売り手側・買い手側それぞれからの当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。		
お薦め 講座・ 備考		・ 情報・ビジネス系列の科目や生活ゼミの科目を履修することをお勧めします。					

専門教科 総合		科目	SDGs入門		種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講 対象	・SDGsに興味のある生徒 ・世界情勢や外国や日本の文化を探究したい生徒							
学 習 内 容	前期				後期			
	①SDGsの考え方、歴史的背景 ②SDGsを知る ③17の目標と169のターゲットについて				④17の目標と169のターゲットについて ⑤世界におけるSDGsと達成状況 ⑥日本におけるSDGs ⑦演習と成果発表			
評 価 ・ 評 定 の 方 法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	SDGsに関する学習を通じて、17の目標と169のターゲットについて理解し、世界情勢や日本の状況を理解する力を身に付けている。			
				思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
				主体的に学習に取り組む態度	SDGsの考え方、歴史的背景、世界情勢や日本の状況等、学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・現代が抱える「社会的課題」が何であるかを深く知ることができます。この「社会的課題」の解決に向けた調査研究を行うのが「ゼミナール」の授業です。課題研究の内容を探る際のヒントとなる講座でもあります。							

人間と社会		科目	人間と社会		種類	学校必選択	単位数	1
履修条件	2 年次指定科目				教科書 教材等	「人間と社会」教科書 本校作成テキスト		
受講対象	・ 2 年次に各自で選択したゼミごとに全員が履修する。							
学習内容	前期 ①自己理解、他者理解 ②学ぶこと・働くことの意義 ③体験学習				後期 ④地域社会を築く ⑤社会と人生を見つめる ⑥これからの生き方 ⑦体験学習			
評価・ 評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	周りの人との関わりを通して探究の方法を身に付ける他、様々な課題に対して知識を活用して考える力が身に付いている。			
				思考・判断・表現	自分の意思で課題を見出し、情報を集めて考えたり話し合ったりして探究を進め、自分なりの答えを導き出そうとしている。			
				主体的に学習に取り組む態度	自分自身の生き方を充実させようとする態度や、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1 年次「人間と社会」 2 年次「フューチャーデザインング 2」「ゼミナール 2」、 3 年次「フューチャーデザインング 3」「ゼミナール 3」、 4 年次「フューチャーデザインング 4」「ゼミナール 4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

総合的な探究の時間		科目	フューチャーデザインⅡ		種類	必修	単位数	1
履修条件	2 年次指定科目				教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・ 2 年次にクラスごとに全員が履修する。							
学習内容	前期 (プレ課題研究) ①情報の集め方 ②問いの整理 ③テーマ設定の練習 ④芽吹祭発表準備				後期 (進路学習) ⑤将来設計 (履修登録・将来像の構築) ⑥進路ガイダンス			
評価・ 評価の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
				思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
				主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザインⅡ (未来設計) を構成する科目のひとつです。 1 年次「人間と社会」 2 年次「フューチャーデザインⅡ」「ゼミナールⅡ」、 3 年次「フューチャーデザインⅢ」「ゼミナールⅢ」、 4 年次「フューチャーデザインⅣ」「ゼミナールⅣ」 を履修し、各自の自己実現を図ります。							

総合的な探究の時間		科目	フューチャーデザイン4		種類	必修	単位数	1	
履修条件	4年次指定科目				教科書 教材等	本校作成テキスト			
受講対象	・ 4年次に全員が履修する。								
学習内容	前期 ・進路実現への取り組み				後期 ・進路実現への取り組み				
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観点別の 評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。				
				思考・判断・ 表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。				
				主体的に 学習に 取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。				
お薦め 講座・ 備考	・ フューチャーデザイン4（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「人間と社会」 2年次「フューチャーデザイン2」「ゼミナール2」、 3年次「フューチャーデザイン3」「ゼミナール3」、 4年次「フューチャーデザイン4」「ゼミナール4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。								

4年次以降設置の科目

教科	総合	科目	ゼミナール4	種類	学校必選択	単位数	2	
履修				必修				

履修条件	なし（４年次指定科目）			講座紹介	課題研究を基に、企画提案を行います。		
教科	総合	科目	フューチャーデザインⅣ	種類	必修	単位数	1
履修条件	なし（４年次指定科目）			講座紹介	自分の進路実現に向けてより具体的に学びを深め、進路活動にも活かします。チューターとして１年次生の助言や支援も務めます。		